

令和の時代に考える 日本の守り

「令和」が幕を開けました。新時代への希望に満ちる一方、いずれ来たる大災害や急速な人口減少、厳しさを増す国際情勢などへの対応も迫られています。国民の歌を集めた万葉集を典拠とする新元号を迎えた今こそ、この国のあるべき姿を有識者の議論を通じて、ともに考えます。

日時 2019年6月5日(水)
(令和元)

13:00~15:30 入場無料

会場

九州国際大学
KIUホール

〒805-8512 福岡県北九州市八幡東区平野1-6-1

基調
講演

「トモダチ作戦と日本の安全保障
(2011年3月 東日本大震災での
米軍救援活動)」

【講師】 エルドリッチ研究所 代表
ロバート・D・エルドリッチ氏

パネルディスカッション

エルドリッチ研究所 代表
ロバート・D・エルドリッチ氏

元衆議院議員
九州国際大学客員教授
東 順治氏

読売新聞西部本社北九州総本部長
九州国際大学客員教授
川浪 康裕氏

コーディネーター 九州・歴史・観光戦略研究所 代表
井上 政典氏



エルドリッチ研究所・代表

ロバート・D・エルドリッチ

Profile

1968、米国生まれ。
パリ留学を経て、米リンチバーグ大学の国際関係学部を優等卒してから1990年来日。兵庫県多可町町立中学校の初ALT(1992年まで)。1999年、神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程終了。政治学博士。サントリー文化財団研究員、大阪大学准教授、在日海兵隊基地外交政策部次長などを経て現職。2011年3月東日本大震災で米軍救援活動「トモダチ作戦」の構想、実行に携わる。

専門分野は政治・外交、危機管理、防災、地方創生、国際交流、教育。主な著作に、『沖縄問題の起源』(名古屋大学出版会、サントリー学芸賞・アジア太平洋賞:2003年)、『尖閣問題の起源-沖縄返還とアメリカの中立政策-』(名古屋大学出版会、大平正芳記念賞、国基研日本研究賞奨励賞:2015年)、『オキナワ論』(新潮社、2016年)、『次の大震災に備えるために』(近代消防、2016年)、『トモダチ作戦』(集英社、2017年)、『防災をめぐる国際協力のあり方』(共著)(ミネルヴァ書房:2017年)、『人口減少と自衛隊』(育鵬社、2019年)ほか著書多数。

その他(一財)日本戦略研究フォーラム上席研究員(2016年-)、ピースウインズジャパン顧問のほか、「そこまで言って委員会」、「正義のミカタ」のテレビ・ラジオ等でコメンテーターとして多方面で活躍。現在、多可町政策アドバイザー及び国際交流親善大使も務めている。

詳細、<http://www.robertdeldridge.com/>。